

宿主ゲノム・病原体ゲノムの統合解析から迫る肺非結核性抗酸菌症の病態解明

研究の概要

細菌 GWAS (Genome Wide Association Study) 解析で得られた病原体ゲノム情報とヒト GWAS 解析から得られた宿主側ゲノム情報との関連性を検討し、肺非結核性抗酸菌症の発症・重症化に寄与する病原体遺伝子や塩基配列を明らかにする。当研究所では臨床分離株のゲノム解析を行う。本研究は、慶應義塾大学を研究代表機関として、国立感染症研究所、神戸市健康科学研究所が共同して実施される。

研究責任者

有川 健太郎(健康科学研究所)